

本誌発行に寄せて

当社グループは、色彩の総合メーカーとして、1931年の創業以来、世の中の技術革新にいち早く注目し、新しい技術、製品を生み出すことで、ファインケミカルの立場から社会に貢献してまいりました。

これまで培ってきました当社グループのコアとなる技術を深化させ、新たな技術と融合させることにより、IT・エレクトロニクス、ライフサイエンス・パーソナルケア、モビリティ、パッケージングなどの分野に積極的に注力し、技術オリエンテッドのソリューションカンパニーを目指してまいります。

また、ESG(環境、社会、企業統治)活動の充実が地球社会と企業の長期的・持続的な成長をもたらし、ひいては企業価値の向上に繋がるものとの認識から、環境問題への取り組み、ダイバーシティの推進、一層のコーポレート・ガバナンス体制の強化・充実などにより、当社グループに係るさまざまなステークホルダーを通じて、今後とも社会貢献を果たしてまいります。

当社グループに係るすべての皆様のご期待に誠実にお応えし、信頼される企業となるよう弛まぬ努力を続けてまいります。今後とも皆様の変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

CONTENTS

本誌発行に寄せて／CONTENTS／企業理念 01

事業計画

トップメッセージ／長期ビジョン、基本戦略 03

経営方針・経営指標／財務戦略・資本政策 05

価値創造の取り組み

私たちが大切にしてきたもの 07

価値創造プロセス 09

製品を通じたESG貢献 11

事業部紹介 13

研究開発部門紹介 17



大日精化グループの
持続的な成長に向けた取り組み

持続的な成長に向けて

CSR・ESGの考え方 19

環境性報告／CSR・ESG活動評価と次期目標 21

環境性報告／環境マネジメント 23

環境性報告／気候変動への取り組み 25

社会性報告／お客様とのかかわり 27

社会性報告／人材育成・活用 31

コーポレート・ガバナンス 33

役員紹介 35

会社概要／連結決算ハイライト／株式基本情報 37

グループネットワーク 38

03

ESGの推進を軸に
3つのコア技術を深化し、
企業価値のさらなる
向上を目指します

代表取締役社長

高橋弘二



編集方針

当社は2005年度から「環境報告書」を、2010年度から「社会・環境報告書」を発行してきました。2013年度からは会社案内の機能を追加して「コーポレートレポート」と改称しました。また、本年度からはESGやSDGsに関する取り組みのご紹介を充実させております。本レポートはステークホルダーの皆様へ、当社グループの事業内容とともに、環境や社会、企業統治などに対する考え方と取り組みをわかりやすくお伝えできるように作成しています。

- 報告対象範囲 当社及び当社グループを対象としています。
- 報告対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日
※ただし、一部事柄については、本対象期間外の活動も含みます。
- 参考ガイドライン 日本規格協会「ISO26000：2010社会的責任に関する手引」
経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」

- ## 企業理念
- ◎ 人に興味を持つ
 - ◎ 新しいことに興味を持つ
 - ◎ 未来に興味を持つ

行動指針

人間は面白い。
その面白い人間が作っているのが企業であり、また顧客です。
全ての経済原則、経営理論は、人の行動原理に基本があります。
人に興味を持つ。

新しいことはワクワクする。
技術革新や商品開発は顧客や市場を開拓すると同時に、人間も活性化します。
新しいことに興味を持つ。

未来を考えることは楽しい。
未来は子供たちのものです。
未来を考えれば、人も企業も自分だけでは生きていけないことが分かります。
顧客の発展が無ければ、当社は富んでも長続きしません。
更に、社会に生かされなければ、人も企業も存続し得ません。
未来に興味を持つ。

一方、当社には1968年に制定した、社是〈必達〉があります。
上記の企業理念と共に、歴史ある社是〈必達〉を、誇りを持って遵守しています。

社是

必達

私たちはカラーエージを担う大日精化の社員として
〈必達〉の社是のもとに誇りを持って仕事をすすめよう

- 1、仕事は必ず目標を立て、これを必達しよう
- 1、正しい製品知識を身につけ、製品普及のチャンスを積極的に求めよう
- 1、仕事を通じ製品を通じて、会社の信用を更に高めよう
- 1、社会人として常に教養を高め、反省を深める機会を持つ
- 1、仕事を通じて社会に貢献し、大日精化を最高の企業体としよう